



■急な山道 暑い日にはかなりの重労働

# こうか まちかど 特派員 のページ

こうか  
まちかど特派員  
はた ひさお  
畑 久男



■鐘子山

地域にはいろんな伝統行事がありますが、そのときの気候と相まって季節の風物詩となるものが多いようです。今回は、暑い夏に行われる地域の伝統行事の一つをご紹介します。

## 夏の山頂で行われる地域の風物詩

### 照りつける太陽の下、 山に登る

梅雨明けを告げるかのよう  
に太陽が照りつける中、  
汗を拭き、息を切らせて  
木立の木の根道を登りま  
す。

岩室区で一番高い山鐘子  
山の山頂で7月7日、例年  
通り今年も御湯神事が行わ  
れました。

山に登りきったところに  
鳥居が見えてきます。その  
奥に鎮座するのが津嶋神社  
です。

この神社は、記録による  
と、明和5年（1768年）  
頃には干ばつに見舞われな  
いよう雨乞いが行われ、そ  
の後、慶応4年（1868  
年）頃から、五穀豊穡、家  
内安全を祈願するようにな  
り現在に至っています。

暑い中を参拝者が続々と登ってこられ、太鼓の

音、鈴の音が山中にこだま  
します。御湯神事のあとは  
参拝者全員が集まりこもり  
堂で会食を行います。夏の  
山頂で交流が繰り広げられ  
ます。稲や野菜等の生育の  
話や、地域の話題、その他  
もろもろ、話はずみ、交  
流の場は時間を忘れ、暑さ  
もしばし忘れさせてくれま  
す。

やがて神主さんは次の地  
区へと移動され同様の神事  
が行われます。お神酒や赤  
飯を持ち帰り、家族全員で  
いただいで無病息災を祈り  
ます。

### 夏の幕開けを告げる 伝統行事

この行事が終わると本格  
的な夏に突入することにな  
ります。地域では、この行  
事がやってくるたびに、夏  
の訪れを肌で感じます。

以前は、子どもたちも一  
緒に山に登り、木の実を  
採って食べたり、セミなど  
捕まえて遊びました。真っ  
黒に日焼けした元気な子ど



■山頂にひっそりたたずむ津嶋神社

もたちが、森の中を駆け回  
る光景を見ることが風物詩  
の一つでしたが現在ではほ  
とんど子ども姿はありま  
せん。

休日ではないこともある  
かもしれませんが少し淋し  
い気もします。やはりカン  
カン照りの太陽には子ども  
の元気な姿が似合います。  
伝統の行事はいつまでも残  
して守ってほしいと願う一  
日でした。